

★県北地域の感染症発生状況(11/1～11/7 福島県感染症発生動向調査週報より)

※詳細は「福島県感染症発生動向調査」で検索してください。

全数把握疾患:百日咳(8件/週)の発生が県北管内の医療機関から報告されました。

新型インフルエンザ等感染症:新型コロナウイルス感染症(2件/週)の発生が県内医療機関から報告されました。

12月1日は世界エイズデー

■世界エイズデー-FUKUSHIMA 普及啓発週間 11月19日～12月5日■

福島県ではエイズへの関心が高まるよう、上記期間を普及啓発週間としています。

令和3年度世界エイズデー主題

「レッドリボン30周年 ～Think Together Again～」



レッドリボンは、HIV/エイズに関する運動の世界的なシンボルです。このレッドリボンがエイズのために使われ始めたのは、エイズが社会的な問題となりつつあった30年前のアメリカです。1991年にニューヨークの芸術家たちが、エイズで亡くなった仲間に対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を表明するため、レッドリボンをシンボルとする運動を始めました。

レッドリボンが使われ始めてから30周年の節目において、このシンボルに宿る意味を原点に立ち返って考えるとともに、HIV/エイズに関する検査や治療、支援などの知識を身につけ、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていきましょう。

エイズってどんな病気？

エイズ(後天性免疫不全症候群)は、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染し、体の免疫細胞が破壊され、日和見感染症や悪性腫瘍を合併した状態をいいます。HIV感染=エイズではありません。2020年における日本国内の新規HIV感染者は750人、新規エイズ患者は345人となっています。

臨床症状

HIV感染の自然経過は急性期、無症候期、エイズ発症期の3つの時期に分かれます。

【急性期】

- ・感染の2～3週間後にウイルスが体内で急増する。
- ・発熱、咽頭痛、筋肉痛等のインフルエンザ様の症状が出現する。
- ・症状は数日から10週間程度続き、多くの場合は自然に軽快する。

【無症候期】

- ・ウイルス量が減少し、定常状態となる。
- ・その後、数年～10年間ほどの無症候期を経過する。

【エイズ発症期】

- ・免疫機能が低下し、日和見感染症等を発症する。
- 日和見感染症には、ニューモシスチス肺炎、カンジダ症、結核、悪性腫瘍などがあり、これらの発症をきっかけにHIV感染が判明することがある。

感染経路

HIVは感染者の血液、精液、膣分泌液、母乳に含まれます。

感染経路は主に次の3つです。

1. 性行為による感染
2. 血液を介しての感染
3. 母親から赤ちゃんへの母子感染

※HIVは日常生活（握手や会話、コップの回し飲み、公園の水飲み場やプール等）で感染することはありません。

予防方法

- 性交・オーラルセックス（口腔性交）の際は、必ずコンドームを使う。
- 性器具の共用をしない。
- 注射器具の共用をしない。

コンドームは直前に付けるのではなく、性行為のはじめから終わりまで付けておく必要があります！

HIVの治療

HIVの治療は複数の抗HIV薬を服用して行います。現在の医療では、体内のHIVを完全に取り除く治療はありませんが、早期にHIV感染を知り適切な治療を継続すれば、エイズの発症を防いで、感染していない人と同じくらい長く健康的な社会生活を送ることが期待できるようになりました。また、治療を継続して体内のウイルス量が減少すれば、HIVに感染している人から他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。

検査

保健所や病院、クリニックなどで検査を受けることができます。

県北保健所では HIV 抗体検査を実施しています。※匿名可

検査日：毎月第1・3月曜日 午前9時～午前10時30分まで

検査時期：感染の機会から3ヶ月以上経過してからの検査をおすすめしています。

申し込み方法：完全予約制です。電話にてお申し込みください。

電話番号 024-534-4113



毎年11月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です

◆抗菌薬は医師や薬剤師の指示を守って、適切に使用しましょう◆

1980年以降、従来の抗菌薬が効かない「薬剤耐性（AMR）」を持つ細菌が世界中で増えています。薬剤耐性菌が増えると治療が難しくなるため、重症化や死亡の危険性が高くなります。

特に免疫力の弱い乳幼児や妊婦、高齢者、持病がある人は、感染症にかかると重症化しやすいため、薬剤耐性菌が広まり使用できる抗菌薬が減ると命の危険が高まります。

抗菌薬は、不適切な使い方（自己判断による服薬量の変更や服薬中断など）をすると新たな薬剤耐性菌が出現する可能性があります。医師や薬剤師の指示を守って使用しましょう。



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスク着用、手洗い、換気など基本的な感染対策を継続しましょう！

発行日：令和3年11月16日

発行元：福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード

福島県県北保健所